

令和8年度
戸田市立戸田東小学校
学校経営方針

自律 自走と共創



全ての人を笑顔（Well-being）にする

好きを育み 得意を伸ばす

戸田東小学校

「自らの人生を舵取りすることができる
民主的で持続可能な社会の作り手」の育成

令和8年4月1日（水）



- ◇戸田市教育大綱（R8制定 市長部局）
共に「はぐくみ まもり むすぶ」教育のまち 戸田
- ◇第5次戸田市教育振興計画（R8～R12）
【基本理念】好きを育み 得意を伸ばす とだの教育

はじめに

学校は「人が人によって育つ」場所です。「人を育てる」場所ではありません。
 「子どもを真ん中」において、教職員、家庭、地域も、みんなが互いにに関わり合って育つ場所です。
 子どもたちにとって、「一人一人が大切にされていること」「お互いの違いが認められていること」を感じられる安心・安全な居場所があることを前提とした学びがいのある学校をめざします。
 教職員にとって、チーム戸田東小として、子どもに深い愛情をもち、子どもの成長を喜び合うとともに、働きがいのある学校をめざします。
 家庭、地域にとって、子どもの学ぶ姿や地域とともにある学校の姿を発信したり地域の教育環境を活用したりし、子どもの育ちが見える支援しがいのある学校をめざします。
 子どもたちの成長に関わる全ての人に関わりあい、互いに成長しあい笑顔いっぱい「Well-being」の学校をつくっていきましょう。

小中学校共通目標

「グローバル社会で 将来豊かに生き 活躍できる 児童生徒の育成」

1. 学校の教育目標

「全ての人を笑顔（Well-being）にする学校」
 ～好きを育み 得意を伸ばす～

(1) 基本理念

「自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手」の育成。

本校の最上位目標（Mission）は、子供、教職員、保護者、地域住民のすべてが幸せを感じる「Well-being」の実現です。予測困難な未来社会において、自ら考え、選び、行動し、多様な他者と協働して新たな価値を創造できる力を育みます。

(2) めざす児童の姿

- ① 自分が好き 自ら考え、選び、行動する子
- ② ひとを大切にする 多様な集団の中で他者を尊重し、協働する子
- ③ 未来をつくる しなやかな発想で、自分の可能性を拡げ、変化を創り出す子

(3) 育成する資質・能力

20年後の未来社会で活躍できる子の育成
 変化にしなやかに対応できる変化を創る人財

- ① 思考力 振り返り活かす力
- ② 表現力 考えを持ち表現する力
- ③ 協働力 協働・協調する力

2. めざす学校の姿

～「居場所」を力に 「やってみたい」を「カタチ」にする学校へ～

子どもたちは、自分が自分らしくいられる安心できる「居場所」があるからこそ、自分が好きになり、人を大切にし、未来を創ることができるようになります。

安心できる「居場所」で、力を蓄えたら「やってみたい」という気持ちが生まれるはずです。

戸田東小学校は子供たちの「やってみたい」を大切にし、カタチにできる学校を目指します。

【めざす学校 具体の姿8】

- ① 温もりのある学校 一人一人に安心できる居場所がある学校
- ② 個性を伸ばす学校 児童の好きを育み、得意を伸ばす学校
- ③ 研究する学校 教師自らが資質向上を目指し主体的・対話的な研究を進める学校
- ④ 安全・安心な学校 心身ともに健康で、安全・安心・快適・笑顔あふれる学校
- ⑤ 未来を拓く学校 ICTの効果的な活用をDC教育とともに進める学校
- ⑥ 凜とした学校 厳しさ・やさしさ・気品 そして 充実とゆとりのある学校
- ⑦ 地域と創る学校 家庭・地域とともに創るコミュニティースクール
- ⑧ 小中一貫教育の学校 義務教育9年間を見通した施設一体型小中一貫教育を進める学校

3 めざす教師の姿

～教えの専門家「学びの専門家」としての信念と誇りをもって
学び続ける教師～

【めざす教師 具体の姿7】

- ① 可能性を拓く教師 一人一人のよさを認め励まし 可能性を引き出す教師
- ② 心を耕す教師 豊かな感性で 子供の心に寄り添い育む教師
- ③ 学び続ける教師 理論と実践を往還させ 互いに磨き合い高め合う教師
- ④ 共に創る教師 組織の一員としての自覚を持ち 課題解決に臨む教師
- ⑤ 誠実に向き合う教師 保護者や地域の思いを真摯に受け止め 誠実に応える教師
- ⑥ 健やかな教師 自らの心身の健康に留意し 活力をもって子供に向き合う教師

4 学校の経営方針

子供が輝き 保護者・地域とともに作る戸田東小学校
—人が人によって育つ学校をめざして—

Mission: 学校に関わる全ての人を笑顔【Well-being】に

Vision: 「居場所」を力に 「やってみたい」をカタチに

concept: 自律 自走 共創

戸田東小学校は、子供も大人も共に影響し合い、共に高め合う場所でありたいと考えています。予測困難な時代において、自ら考え動き、共に創り出す力を育むための指針（フィロソフィ）を掲げます。

【戸東フィロソフィ（Grand Rule）】

私たちが日々の教育活動や意思決定において立ち返る、共通の土台です。

- ① 全ての判断基準は「子供の立場」
「教師の都合（Supply Side）」ではなく「子供の最善（Demand Side）」を問い続けます。主語を常に子供に置き、「どうした?」「大丈夫だよ」と、まずはありのままを受容することから始めます。
- ② スクラップを躊躇しない
「なぜ? 何のために?」という本質を大切にします。目的を見失った慣習は見直し、Why（目的）→What（内容）→How（方法）の順で最適解を導き出します。
- ③ 学び合う学校文化に
「Just Do it!」の精神を尊びます。安心できる居場所があるからこそ、誰もが「やってみよう」と新しい一歩を踏み出せる文化を醸成します。
- ④ 失敗から学ぶ組織に
「学校は安全な失敗ができる場所」です。失敗を成功への第一歩と捉え、ミスを隠さず共有し、建設的に次へ活かせる組織を目指します。
- ⑤ 変化をおもしろがる
「小さな当たり前」をあえて問い直すことが、大きな進化へとつながります。変化を恐れるのではなく、楽しみながら学校をアップデートし続けます。
- ⑥ 多角的な視点を持つ
鳥（俯瞰）、魚（流れ）、虫（微視）、コウモリ（逆さま）、猫（迅速）。多様な視点を使い分け、多角的に変化へ対応します。

【プロジェクト型経営（組織のOS）】

教職員一人ひとりが主役となり、専門性を発揮できる「新しい学校組織」のカタチです。

- ①自律・自走するプロジェクトチーム
 全員参加のミッション型組織を導入します。プロジェクトリーダーに権限を委譲し、教職員が「ジブンゴト」として、経営に参画します。
- ・ 協働 学年や分掌を超え、目的のために手を取り合う。
 - ・ 機動 R-PDCA（迅速な検証と改善）を回し、スピード感をもって対応する。
 - ・ 育成 教職員のクリエイティブパワーを発揮し、マネジメント力を高める。
- ②会議を「クリエイティブ・ラボ（研修の場）」へ
 伝達中心の会議を減らし、新たな指導技術や知見を共有する「その場で学ぶ研修」に変容させます。
- ・ 知の循環 縦（プロジェクト）の知恵を、横（学年）の実践へと繋がります。
 - ・ 対話と納得 提案を「自分ゴト」として捉え、対話を通じて深く互いに納得し、教育活動を展開します。

5 コンプライアンスの徹底

- (1) 行動指針「さ・し・す・せ・そ」
- さ 最悪を想定&サービス精神に徹する
 - し 慎重に対応&迅速に対応する
 - す 素早く対応&水面下（背景）にも気を配る
 - せ 誠意をもって対応する
 - そ 組織的に対応&相談しやすい態度を保つ
- (2) 不祥事根絶「さいたまのひのこわ（は）」
- さ（酒）
 - い（異性）
 - た（体罰）
 - ま（マネー）
 - の
 - ひ（非違行為）
 - の
 - こ（個人情報）
 - わ・は（わいせつ・ハラスメント）の根絶
- (3) サービスの基本
- ①教育公務員としての自覚とサービス専念義務。
 - ②情報漏洩防止と交通安全。
 - ③体罰・不適切な指導の根絶。

6 勤務時間及び休憩時間等

(1) 勤務時間

- ①勤務時間（勤務開始時刻及び勤務終業時刻）：8:30 ～ 17:00
- ②コアタイム：9:00 ～ 13:00

(2) 休憩時間（6時間以上勤務する場合45分間）

- ①月・金曜日：14:45 ～ 15:30（その後17時まで研修・研究・会議）
- ②火～木曜日：15:30 ～ 16:15
（その後17時まで学年会・職員集会・会議・教材研究等）
- ③休業日または児童が給食なしで下校する日：12:15 ～ 13:00
- ④ことばの教室・事務職員：12:20～13:05

(3) 働き方のルール

- ①原則、毎週金曜日を定時退勤日とする。
同じ週に②があるときは②を優先。
- ②給与支給日は全県定時退勤日（毎月21日）
- ③1月下旬エデュケーション・ウィークに定時退勤推奨ウィークを実施
- ④出勤時・退勤時に挨拶と共に打刻し、自己の在校時間を把握し、よりよい働き方を考える。
上限月45時間を意識し、1日2時間以内の残業をセルフマネジメントする。